

あ い さ つ

奈良県下における近年の宅地等による開発はめざましいものがあります。とくにその大半が奈良市域に入る平城京については、開発申請件数が年間500件にも及ぶ状態にあり、しかも比較的大規模な面積の開発が増加してきております。国・県・市の三者が協力して対処してもなお充分に対応しきれれておりません。しかし、一方、開発に伴う事前発掘調査の結果、大きな学術成果のあがっていることも事実であります。今回、奈良国立文化財研究所に依頼して調査していただいた、株式会社「菱食」の配送センター建設に伴う事前調査も、このようなものの一つであり、本報告書にみるような、平城京における宅地の新しい事例をはじめ重要な成果をみております。とくに本調査地が、従来調査例の少ない平城京南端部でありながら、古代の町の実態を正しく知る上で大変貴重な資料を得たことは、埋蔵文化財の調査、保存対策の重要性を示すものであります。

折りしも今年度は、県制100周年を記念するシルクロード博を、きたる昭和63年度に特別史跡平城宮跡で開催する計画が進められております。文化財の有意義な保存と活用を謳うこのイベントを通して、奈良県としても一層、遺跡の保存と活用に力を入れる必要を痛感しております。今後とも調査体制等の充実をはかってまいる所存でありますので、奈良国立文化財研究所をはじめ関係機関等の御指導、御協力をお願いする次第であります。

今回の発掘調査に際して株式会社「菱食」をはじめ、関係の方々に多大の御協力をいただきました。ここに深く感謝致します。

昭和61年3月31日

奈良県教育委員会教育長

植 田 俊 治